



園芸デザイン 見本庭園の作成  
課題研究園芸デザイン班

～はじめに～

渡部岳、田谷圭大、米澤舞、李致瑛 ほか9名

園芸デザインでの小果樹を用いた実習庭園の継続制作。

更なる装飾を目指して。また、企業での都市部の果樹利用なども学び、作成に生かすこととした。

<制作期間 H27年1月～現在>

◎このようなデザインになったか

いろんなデザインを考え、国道171号線のグリーンベルトと法面を活用した空間デザインを目指した。そこから小果樹と草花のコントラストと発表場所としても利用できる庭をデザインした。

◎手順 (全体のデザイン完成後)

- ①除草
- ②ベリー類追肥
- ③ガゼボの周辺、法面の花壇デザインを考え、苗を植える
- ④柑橘の追加
- ⑤野菜苗の追加
- ⑥ガゼボの修復

◎植えた小果樹の種類

オリーブ、スダチ、グミ、スグリ、ラズベリー、ブルーベリー

☆樹形や果実、樹形が楽しめる果樹を厳選した。

平成28年度は鉢植えの柑橘類でミカンのあすみ、不知火、はれひめを追加した。



はれひめ



しらぬい 不知火



あすみ

平成29年度は野菜苗の追加を行い、更なるキッチンガーデンを目指した。

◎結果

デザイン通りの庭を維持管理するために日々の管理作業を行っている。段々花壇、園路づくりも行い、法面花壇はデザイン性を出せる作品に変更した。

昨年度末から収穫物でのジャムの作成なども行っている。鑑賞と収穫、和みを感じられる庭づくりを今後も継続する。

◎感想およびまとめ

昨年度からの園デ見本園作成を継続で行っている。基本デザインは受け継ぎ、今後も一部の花壇や装飾スペースの変更今年度は小果樹の鉢植えも用意し、装飾のアクセントに用いる。今後も収穫と装飾、観賞が楽しめる現代のホームガーデンを目指し、維持管理と成長を目指す。また、ガゼボも修復し、より利用しやすい庭を目指したいと思う。



整地・除草



花壇の施工



ガゼボの修理

- ①1550mm
- ②1500mm
- ③1600mm
- ④1700mm
- ⑤1550mm
- ⑥1550mm



段々花壇・法面花壇



アーチの設置



ジャムづくり

